

第 51 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	石田ゼミ	チーム名	ESG
タイトル	ESG 投資について		
テーマ群	b)財政・金融		
メンバー	小島凜 中村敬悟 山本直樹 猪野菜々加 寺田有希		
研究計画内容	<p>「研究背景と目的」</p> <p>近年 ESG 投資が話題だ。ESG 投資とは環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の 3 つの観点から企業を評価し、投資判断に組み込むことである。これまでの投資では業績などを重視し、短期的な利益を求めていたが、それでは社会に悪影響を及ぼす。そのため中長期的な視点で企業を判断する ESG 投資の重要性が高まっている。しかし、上辺だけ環境保護に取り組んでいる企業への投資も ESG 投資と認めて良いのか、企業が利益を ESG 投資の目的のために犠牲にしても良いのかという批判の声もある。本研究では、ESG への取り組みが積極的である企業と消極的な企業を比較した時に、ESG の取り組みと企業のパフォーマンスとの間に相関があるのかを調べることで、ESG 投資が企業側に上辺だけの政策ではなく中身のある政策を促すか、ESG に消極的な企業に対し資金調達を制限をかけることになり、企業がより力を入れるようになっていくのかを研究したいと考えた。また、今後増えるであろう ESG 投資の社会・経済への影響や課題点を考察していきたい。</p> <p>「研究内容」</p> <p>まず ESG 投資が利益につながるのかを調べるために、ESG に取り組んでいる企業のパフォーマンスを調べる。そのため今回の研究では東洋経済に掲載されている ESG スコアにおける企業ランキングの上位 20 社と下位 20 社の 2016 年以降の株価の変動率を比較して企業の ESG への取り組みが企業のパフォーマンスにどのような影響を与えているのかを明らかにし、ESG への取り組みと企業のパフォーマンスの相関を調べていく。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>ESG に積極的な企業のパフォーマンスが消極的な企業と比較し高い水準で株価・利益パフォーマンスが向上していることが分れば、投資家が投資リターンを追求する目的において、リターンを高める一因にもなり得ることをデータから示すことができる。また、そのことは、ESG に消極的な企業は資金調達の面において、積極的な企業と比較して相対的に不利になると考えられ、企業の ESG への取り組み意欲の向上につながると考えられる。</p> <p>東洋経済オンライン 最新「ESG に優れた企業ランキング」トップ 200 最終更新日 2021 年 10 月 18 日 閲覧日 2021 年 10 月 27 日 https://toyokeizai.net/articles/-/462366</p> <p>水口剛 「ESG 投資 新しい資本主義のかたち」 日本経済新聞出版社 2017 年</p>		